

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(70歳代男性)あり、症状は尿路感染症、感染地域は国内です。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が3例(60歳代男性(第1週追加分)、70歳代男性、80歳代女性)ありました。

京都市では、「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。

○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について(健康安全課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175159.html>

- ・ 百日咳の報告が1例(30歳代女性)あり、症状は持続する咳で、感染地域は国内です。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は18.81(1,298例)となり、前週の7.97(550例)から倍増しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 8例(肺結核 4例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 13例(肺結核 7例, その他結核3例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 1例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類:百日咳 1例【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	18.81	1,298
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.84	251
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.70	30
	③ 咽頭結膜熱	0.26	11
	④ RSウイルス感染症	0.21	9
	⑤ 水痘	0.19	8
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

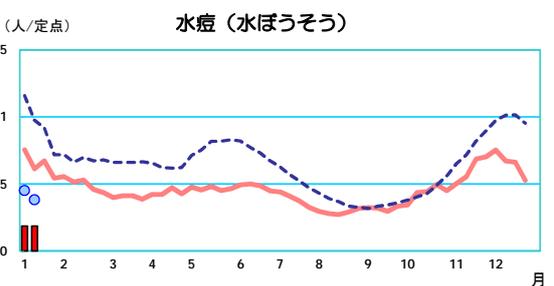
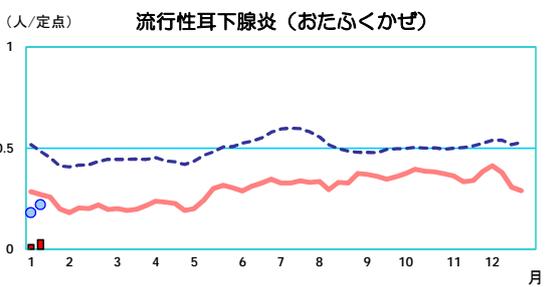
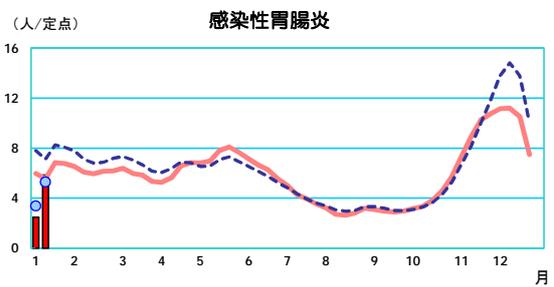
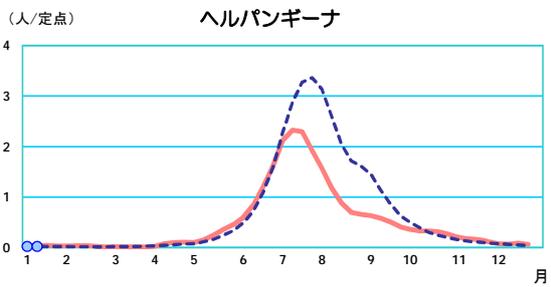
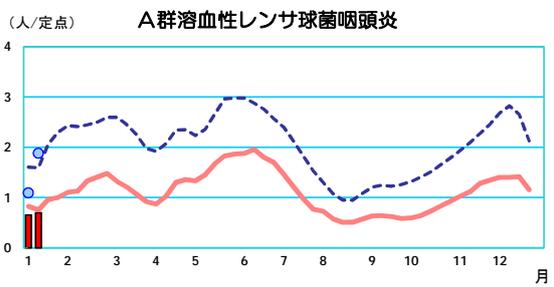
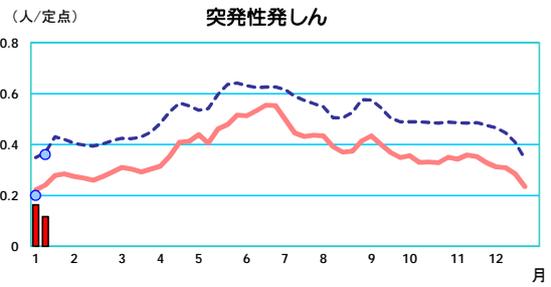
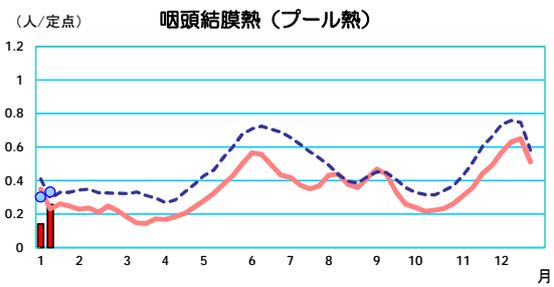
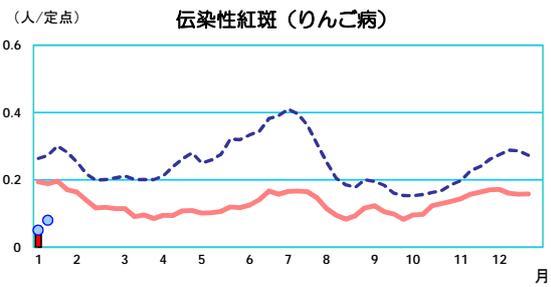
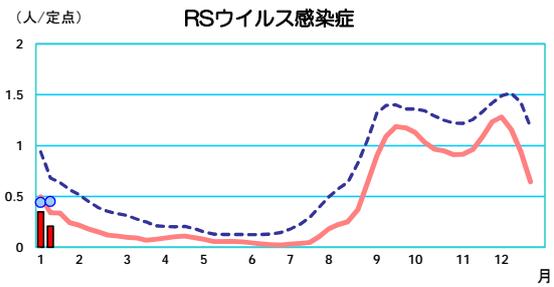
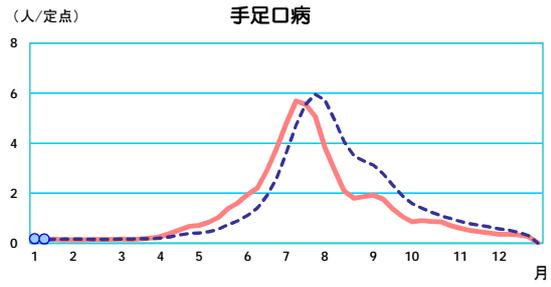
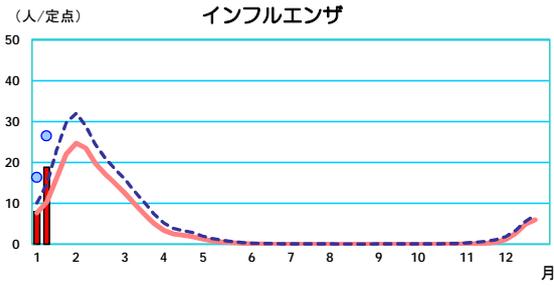
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年1月17日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第2週(1月8日～1月14日)トピックス: <インフルエンザ>

発生動向

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は18.81(1,298例)となり、前週の7.97(550例)から倍増しました。第1週はお正月の医療機関休診等の影響で報告数が減ったものの、第48週の「流行シーズン入り」から報告数が増加し続けています。全国でも26.44と報告数が伸びています(図1)。

都道府県別で見ると、全都道府県で定点当たり報告数が注意報レベルの「10」を超えており、さらに16県で警報レベルの「30」を超えています。近畿圏では「30」を超えている府県はありませんが、九州・沖縄地方では全県で超えています(図2)。

京都市の本年と過去5シーズンの定点当たり報告数を比較すると、流行入りの時期は違うものの、第2週の時点では本シーズンはH26/H27シーズンに次ぐ高い報告数となっています(図3)。今後報告数が増加し、警報レベルに達する可能性も十分にありまます。施設や学校等での集団発生には一層の注意が必要です。今後の発生動向に警戒するとともに予防を徹底してください。

症状及び予防

インフルエンザは1～4日間の潜伏期間を経て、突然、発熱(38℃以上の高熱)・頭痛・全身倦怠感・筋肉痛・関節痛等が出現し、併せて鼻水・咳等の呼吸器症状もみられます。

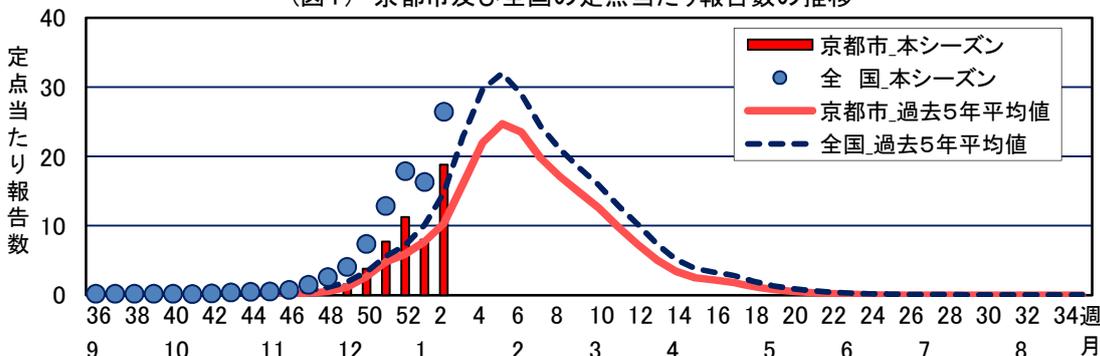
今後数週間で流行のピークを迎えると思われます。受験シーズン、その他イベントの時期でもありますので、感染拡大を防ぐために、咳エチケットや流水・石鹸による手洗い、うがいを徹底してください。京都市では咳エチケットについて紹介しています。詳しくは下記URLを御参照ください。

○「インフルエンザをうつさんよう せきエチケット 守っておくれやす」

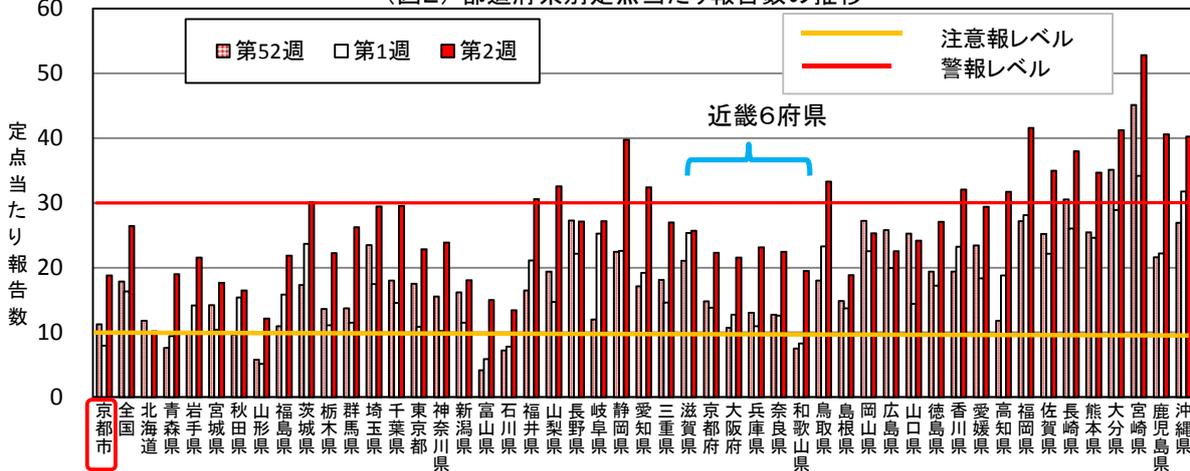
京都市こどもの感染症, 平成30年1月号(PDF形式), (京都市衛生環境研究所)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>

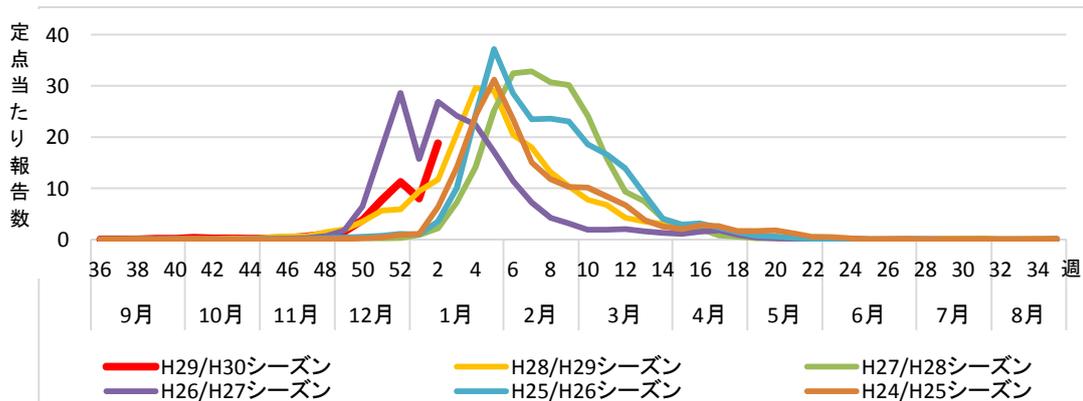
(図1) 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



(図2) 都道府県別定点当たり報告数の推移



(図3) 京都市の過去5シーズンと今年の定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第2週

疾病,行政区別報告数

平成30年1月8日～平成30年1月14日

データ入手日:平成30年1月17日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎 A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	68	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	1						
上京	84	1	1	1	7	-	1	-	1	-	-	-	1						
左京	115	3	-	4	84	-	-	-	1	-	-	-	-						
中京	100	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	13	2	-	-	13	1	-	-	-	-	-	-	-						
山科	143	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-						
下京	34	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	199	-	-	2	13	-	-	-	-	-	-	-	-						
右京	223	-	-	11	34	4	-	-	1	-	-	-	-						
伏見	192	-	8	7	65	3	-	-	1	-	-	-	-						
西京	127	1	2	2	21	-	-	-	1	-	2	-	-						
京都市計	1,298	9	11	30	251	8	1	-	5	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎 A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	9.71	-	-	0.25	0.50	-	-	-	-	-	-	-	1.00						
上京	16.80	0.33	0.33	0.33	2.33	-	0.33	-	0.33	-	-	-	1.00						
左京	16.43	0.75	-	1.00	21.00	-	-	-	0.25	-	-	-	-						
中京	20.00	-	-	0.33	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	4.33	1.00	-	-	6.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-						
山科	20.43	0.40	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	-	-						
下京	11.33	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	39.80	-	-	0.67	4.33	-	-	-	-	-	-	-	-						
右京	27.88	-	-	2.20	6.80	0.80	-	-	0.20	-	-	-	-						
伏見	17.45	-	1.14	1.00	9.29	0.43	-	-	0.14	-	-	-	-						
西京	15.88	0.20	0.40	0.40	4.20	-	-	-	0.20	-	0.40	-	-						
京都市計	18.81	0.21	0.26	0.70	5.84	0.19	0.02	-	0.12	0.02	0.05	-	0.20	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第2週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年1月8日～平成30年1月14日

データ入手日:平成30年1月17日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	1,298	2	7	56	48	62	78	82	83	61	52	47	148	78	114	74	112	66	67	32	29	
RSウイルス感染症	年齢3	9	1	1	4	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		11	-	1	3	1	1	1	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		30	-	-	2	2	3	2	2	5	3	2	3	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		251	1	20	37	32	19	19	23	12	7	4	9	22	13	33	-	-	-	-	-	-	-
水痘		8	-	1	-	1	1	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		5	-	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	18.81	0.03	0.10	0.81	0.70	0.90	1.13	1.19	1.20	0.88	0.75	0.68	2.14	1.13	1.65	1.07	1.62	0.96	0.97	0.46	0.42	
RSウイルス感染症	年齢3	0.21	0.02	0.02	0.09	-	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.26	-	0.02	0.07	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.70	-	-	0.05	0.05	0.07	0.05	0.05	0.12	0.07	0.05	0.07	0.07	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.84	0.02	0.47	0.86	0.74	0.44	0.44	0.53	0.28	0.16	0.09	0.21	0.51	0.30	0.77	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.19	-	0.02	-	0.02	0.02	0.05	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.12	-	0.02	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	0.10	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。
 ※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
 ※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。
 ※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第2週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年1月17日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	105	263	538	777	550	1,298
RSウイルス感染症	24	13	17	13	15	9
咽頭結膜熱	14	12	7	8	6	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	57	68	54	73	28	30
感染性胃腸炎	408	493	392	302	106	251
水痘	8	25	7	12	8	8
手足口病	19	19	17	16	6	1
伝染性紅斑	2	1	-	-	2	-
突発性発しん	10	24	15	4	7	5
ヘルパンギーナ	3	3	5	4	-	1
流行性耳下腺炎	4	8	4	2	1	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	8	5	8	1	1	2
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	1	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	662	934	1,064	1,213	730	1,618

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	1.52	3.81	7.80	11.26	7.97	18.81
RSウイルス感染症	0.56	0.30	0.40	0.30	0.35	0.21
咽頭結膜熱	0.33	0.28	0.16	0.19	0.14	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33	1.58	1.26	1.70	0.65	0.70
感染性胃腸炎	9.49	11.47	9.12	7.02	2.47	5.84
水痘	0.19	0.58	0.16	0.28	0.19	0.19
手足口病	0.44	0.44	0.40	0.37	0.14	0.02
伝染性紅斑	0.05	0.02	-	-	0.05	-
突発性発しん	0.23	0.56	0.35	0.09	0.16	0.12
ヘルパンギーナ	0.07	0.07	0.12	0.09	-	0.02
流行性耳下腺炎	0.09	0.19	0.09	0.05	0.02	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.80	0.50	0.80	0.10	0.10	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	1.00	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	15.09	19.80	20.64	22.45	12.23	26.41

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。